

開発に多大な貢献をした。また、竹村会員は気象衛星業務にも通じ、国際会議の経験も多い。これらの経験を生かし、気象学会の庶務や会計などの日常的な業務の処理だけでなく、学会の将来計画などでも力を発揮してもらえると期待して理事候補に推薦する。

笹野 泰弘 国立環境研究所地球環境研究グループ  
衛星観測研究チーム総合研究官(1952.  
4. 27生)

推薦理由：笹野会員は、国立公害研究所（現環境研究所）においてライダーによる大気境界層の観測的研究に従事し、その業績により、1986年山本賞を受賞している。今年、日本初の地球観測衛星 ADEOS が打ち上げられるが、笹野会員

はその搭載センサーのひとつ ILAS によるオゾンその他微量成分を観測する研究チームのリーダーとして、過去数年この先進的仕事に取り組んで来ている。このような、地球環境問題との接点にある新しい研究領域でのプロジェクト・リーダーとしての経験を生かして気象学会の運営に参加してもらおうべく、理事候補に推薦する。

○中部地区（1名）

宇治 豪 名古屋地方気象台長(1943. 12. 13生)

推薦理由：選挙による中部支部理事候補者の辞退にともなう中部支部からの推薦にもとづき、理事候補者当選者による合議により宇治会員を理事候補として推薦する。

---

## 第29期役員候補者の当選辞退について

1996年4月1日

日本気象学会選挙管理委員会  
委員長 時岡 達志

先に行った日本気象学会第29期役員候補者選挙で当選した下記の理事候補者から、人事異動に伴う所属支部からの転出を理由に、理事候補への当選を辞退したい旨の届け出があり、選挙管理委員会としてこれを受理しました。

森 俊雄（中部支部選出）

この役員候補の補充については、次点者がいないため、日本気象学会定款および細則の規定に従い、第29期理事候補選挙当選者の推薦によって行われます。